

長崎南北幹線道路と西彼杵道路整備の今後の見通し

問 両道路とも全体のルートも決まっていけないような状況だが、今後の見通しを伺いたい。

答 長崎南北幹線道路については、長崎県において、茂里町から時津町までの未整備区間について整備効果やルートへの検討などが進められている。また、西彼杵道路についても、現在整備が進められている時津工区の進捗状況を見ながら、西海市の大串から時津町の日並郷までの未整備区間の調査検討を行っている。意向が示されている。

長崎市としても、関係市町、関係団体、市議会とともに、国や県、国会議員に対し、両道路の早期整備に向けた要望活動を行っている。今後とも、着工区間の早期完成と未整備区間の早期着手に向け、積極的に推進していく。

日本共産党

放課後児童支援員、補助員の確保

問 支援員、補助員の確保に苦慮しているとの声も聞かれるが、確保策と処遇改善にどう取り組んでいるのか。

答 長崎市においては、放課後児童クラブの支援員等を開所時間中に常時二人以上配置することとしており、その

職員数については確保されているものの、安定的な運営を図るための職員配置については苦慮していると聞いている。

長崎市としては、国の制度を活用した補助を実施しており、処遇改善につながっているものと考えている。しかしながら、この制度の活用は全クラブの3分の2程度であるため、引き続き、制度の理解と活用を促し、支援員等の処遇改善、ひいては、職員数の確保につなげていきたい。

高島地区のライフラインの保全

問 高島の護岸が一部損壊し、今後大きく破損すれば、護岸の裏に敷設してある送水管も破損する危険性があるため、ただちに補修すべきではないか。

答 高島地区へは、三和地区の為石浄水場から送水しているため、護岸の崩落が進行して送水管が破損した場合に、高島地区への給水ができなくなる。護岸の管理を行っている長崎県に対して早急な対応をお願いしたところ、護岸について、まずは応急措置を行い、全体的な改良が必要であると判断される場合には、補助事業等での実施についても検討していきたいとの回答を得た。

今後とも、ライフラインである送水管の維持管理に十分な注意を払っていく。



▲損壊した護岸の様子

チーム2020

滑石地区大神宮交差点の渋滞対策

問 交差点の信号処理の見直しについて警察と協議できないのか。

答 長崎県において県道の拡幅工事に伴う大神宮交差点の改良が予定されており、これにあわせ、長崎市では、横尾方面から交差点につながる市道の右折帯の整備を実施した。これにより大神宮方面への車の流れがよくなったことで、大神宮交差点から県道へ右折しづらくなり、交通渋滞が発生している。



▲大神宮交差点の状況

この対策としての信号処理の見直しについて警察に確認したところ、平成30年中に矢印式の右折信号機を設置を行う予定であるとの回答を得ている。今後も、県や警察などの関係機関と協議を行い、安全で円滑な交通処理となるよう努めていきたい。

清風会

小中学校の統廃合

問 基本的な考え方と進捗状況について伺いたい。

答 基本方針では、小中学校の望ましい学校規模を設定し、市内全域において学校規模の適正化と適正配置に取り組んでいる。過小規模校や施設の老朽化が進んでいる学校については、早期の課題解決が必要と考えている。

地域との協議に当たっては、一方的な説明とならないよう配慮しながら進めており、今後も、子どもたちにとって望ましい教育環境とは何かという視点のもと、保護者や地域の皆様と一緒に考えて考え、ご理解いただいた上で進めていく。

進捗状況については、今年度から琴海地区の尾戸小学校を長浦小学校へ統合し、平成33年度から江平中学校を山里中学校へ統合することが決定している。